

# 『エネルギー管理士 熱分野 模範解答集 平成 30 年版』 正誤表

コード 21219

1 版 1 刷 (正誤表作成 2018/11/21)

| 頁   | 行                | 誤   | 正   |
|-----|------------------|---|---|
| 18  | 下から 8 行目         | 管理の基準」として、  | 管理」として、   |
| 122 | 12～13 行目         | 基準部分の「(1) ①空気調和設備・換気設備の管理」からの                           | 基準部分 (工場) の「2 (2) (2-2) ①空気調和設備・給湯設備の管理」ウからの            |
| 150 | 5 行目             | 空気調和設備の熱源設備   | 空気調和設備を構成する熱源設備   |
|     | 6 行目             | 空気調和器設備の  | 空気調和機設備の  |
| 152 | 16 行目            | 利用 ④廃熱回収設備の新設に当たつての措置 アからの                              | 装置 ①からの   |
| 172 | 16 行目ウ           | $P_1 V = mRT_1$   | $P_1 V_1 = mRT_1$                                       |
| 184 | 5 行目             | $= f \frac{L}{D} \rho U_2^2$                            | $= \frac{1}{2} f \frac{L}{D} \rho U_2^2$                |
|     | 7 行目             | $+ f \frac{L}{D} \rho U_2^2$                            | $+ \frac{1}{2} f \frac{L}{D} \rho U_2^2$                |
| 187 | 表 2<br>出口温度の単位   | [kg/s]  | [°C]  |
|     | 表 2<br>流体 B 入口温度 | 2   | 20  |
| 233 | 下から 7 行目         | $x_1 =$   | $x_2 =$   |
| 298 | 13 行目            | $\dot{Q} = kA \left( \frac{T_{w1} - T_{w2}}{1} \right)$ | $\dot{Q} = kA \left( \frac{T_{w1} - T_{w2}}{l} \right)$ |
| 386 | 21 行目            | ①伝熱面等を酸露点以下の温度に保つことが有効なのは、高温腐食の防止である。                   | ①低温腐食の防止としては、伝熱面等を酸露点以下の温度にならないようにすることが有効である。           |